

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (426), 課コード (0505), 会計種別, 予算の種類, 政策 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫をしていないか?, (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (427), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (428), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for budget, personnel, and performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (430), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 (基本事業: あらき園運営事業, 個別事業: 給食サービス事業の充実), ③事業主体 (市), ⑤事業期間 (昭和63年度 ~), ⑦事業費 (0千円), ⑧施策の位置づけ (33303)
(2) 目的: 施策目的・展開方向 (あらき園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。)
(3) 事業内容: 内容 (利用者への年齢、性別、生活活動強度に配慮して、栄養給与目標量を定め、バランスのとれた食事を提供する。生活習慣病に配慮し、それに適した量や味付けに努める。障害の状況により他職種の職員と連携し、ペースト食等の食形態の異なる食事を提供する。必要に応じて代替食を提供する。喫食状況表や検査簿をもとに、利用者の好みを反映したメニューを提供する。季節感や行事にふさわしいメニューを取り入れ、見た目にも楽しめる食事を提供する。利用者からのリクエストをメニューに取り入れる機会を設ける。食車のメニューが選択できる機会を設ける。)
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果) (全ての利用者に、栄養バランスに配慮した安全でおいしい給食を提供する。)
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討 (有/無)

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性): 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスでは、食事の提供について「利用者の心身の状況及び嗜好を考慮し、適切な時間に食事の提供を行うとともに、利用者の年齢及び障害の特性に応じた、適切な栄養量及び内容の食事の提供を行うため、必要な栄養管理を行わなければならない」と定められている。障害特性に合わせた食形態の食事を提供する事はもちろん、食事内容の充実も求められており、あらき園の食事は、他の給食施設に比べると、より個人に合わせた細かい対応が必要とされている。
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性): ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり): ①事業計画時に市民の参画有り ②事業実施時に市民の参画有り ③管理・運営に市民の参画有り ④市民の自主的な活動と連携している ⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?: □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし
(5) 目標設定は適切か?: 現況値(a) (日) 235, 目標値(b) (日) 235, 達成率(%) (f/b x 100) 100%
(6) 事業費削減の工夫をしているか?: 事業費(c) (千円) 25,035, 事業費削減額(d) (千円) 1,372, 削減率(e) (%) 5.2
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用): 0.94

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (433), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

Summary table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (435), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (436), 課コード (0505), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1-7) containing project overview, objectives, content, and implementation details. Includes sections for (1) 事業の概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (8-11) with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	439	課コード	0505	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 あらかぎ園運営事業	個別事業 あらかぎ園利用者参加行事の充実	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	健康福祉部・あらかぎ園			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	昭和63年度 ~			⑥担当職員数	8人 (換算人数)	0.44人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 4,576千円 (うち人件費 3,872千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらかぎ園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	行事を通して、多様化してきているニーズにあった施設支援及び地域との交流を視野に入れた日中活動の充実を目指す。				
(3) 事業内容	内容	園外活動 施設交流会 我孫子市絵画展 プール ウルトラ運動会 年忘れ会 成人式			当該年度執行計画	・園外活動 (10月~11月、2月~3月) ・施設交流会 (7月、10月) ・我孫子市絵画展 (10月) ・プール (7~8月) ・ウルトラ運動会 (8月) ・年忘れ会 (12月) ・成人式 (1月)				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	人	想定値	実績値
当該(開始)年度	利用者に合った行事を実施することで、利用者や保護者が楽しんで行事に参加する。				直接	あらかぎ園利用者の参加率	%		88	100
3年後	利用者に合った行事を実施することで、利用者や保護者が楽しんで行事に参加する。				直接	あらかぎ園利用者の参加率	%		0	100
最終(概ね5年後)	利用者に合った行事を実施することで、利用者や保護者が楽しんで行事に参加する。				直接	あらかぎ園利用者の参加率	%		0	100
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ○無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		園外活動用バス借り上げ	791	園外活動用バス借り上げ	661	園外活動用バス借り上げ	661	園外活動用バス借り上げ	661	
		有料道路・駐車場使用料	11	有料道路・駐車場使用料	6	有料道路・駐車場使用料	6	有料道路・駐車場使用料	6	
		施設入園料	13	施設入園料	29	施設入園料	29	施設入園料	29	
費用弁償	0	費用弁償	0	費用弁償	0	費用弁償	0			
普通旅費	2	普通旅費	3	普通旅費	3	普通旅費	3			
		福祉バス借用燃料費	5	福祉バス借用燃料費	5	福祉バス借用燃料費	5			
予算(済)額	合計		817	合計		704	合計		704	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源	817		704		704		704		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.27		0.44		0.27		0.27		
	正職員人件費	2,376		3,872		2,376		2,376		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	3,193		4,576		3,080		3,080		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	39.42千円/人		56.49千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	利用者の多様化、重度化、高齢化が問題となってきた中で、障害程度に関わらず、障害者のより豊かな地域生活を実現するためには、通常の支援以外の行事なども充実させることが求められている。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	442	課コード	0505	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 あらき園運営事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・あらき園				
	③事業主体	個別事業 リスクマネジメント	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市							
	⑤事業期間	昭和63年度～		⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.17人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,005千円 (うち人件費 1,496千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 第5次健康福祉総合計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらき園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	施設サービス提供における様々なリスクをあらかじめ把握し、未然に防ぐ。また、万一が事故や災害が起きてしまった場合のための危機管理対策を講じる。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク予防対策として「ひやり・はっと」報告の実施 ・リスク管理対策として事故発生時における対応のフローチャート作成 ・災害時における対応マニュアルの確認 ・防災訓練の実施・防災用消耗品の管理 ・消防設備の維持管理 ・苦情解決制度の実施 ・施設損害賠償責任保険に加入 			当該年度執行計画	事故、苦情、要望、意見、「ひやり・はっと」報告については、解決の過程を明確にし、記録を残し、定期的に担当者及び施設長との検討会を実施し、検討結果については、全職員に周知する。災害対応マニュアルを確認するを行うとともに、災害・事故等を想定した訓練を年間6回実施する。併せて、防災用消耗品の管理を行なう。また、事故に備えた施設損害賠償責任保険に加入する。					
		当該年度活動結果指標	事故、ひやりはっと、防災訓練の検証・検討会の実施回数		単位	回	想定値	18			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	利用者支援におけるリスクを最小限にするため、職員の危機管理意識を高める。			直接	事故、ひやりはっと、防災訓練の検証・検討会の実施率		%	100	100		
3年後	利用者支援におけるリスクを最小限にするため、職員の危機管理意識を高める。			直接	事故、ひやりはっと、防災訓練の検証・検討会の実施率		%	0	100		
最終(概ね5年後)	利用者支援におけるリスクを最小限にするため、職員の危機管理意識を高める。			直接	事故、ひやりはっと、防災訓練の検証・検討会の実施率		%	0	100		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		防災用消耗品	42	防災用消耗品	174	防災用消耗品	174	防災用消耗品	174		
		施設総合賠償保険	333	障害者施設総合補償制度	335	障害者施設総合補償制度	335	障害者施設総合補償制度	335		
		誘導灯修繕	90								
消火器詰替手数料	0										
予算(済)額	合計		465	合計		509	合計		509		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		465		509		509		509		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.28		0.17		0.33		0.33			
	正職員人件費	2,464		1,496		2,904		2,904			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	2,929		2,005		3,413		3,413			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	418.43千円/回		111.39千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	福祉サービスにおいて、利用者の安心や安全を確保することが基本であり、事故防止対策を中心とした福祉サービスにおける危機管理体制の確立が必要である。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他						<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	2,005	924	<input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他		<超過理由等>				
	事業費削減率(%)		<削減の内容>						
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下		○要 ○不要
	4.99		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
			%	10万円	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード 2194 課コード 0505 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 あらき園運営事業, ②部課名 健康福祉部・あらき園, ③事業主体 市, ④対象地区 我孫子, ⑤事業期間 平成28年度, ⑥担当職員数 5人, ⑦事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 33303
(2) 目的: 施策目的・展開方向
(3) 事業内容: 内容
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向